

市長口述の要旨

本日は、大変お忙しい中、「定例記者会見」にご出席いただき、誠にありがとうございました。報道各社の皆様には、日頃から当市の情報発信に特段のご尽力を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、本日は、令和8年度当初予算など、3点について情報提供をさせていただきます。

まずは、令和8年度糸魚川市の当初予算について、ご説明いたします。

令和8年度の当初予算は、4字熟語でたとえると「疾風勁草」の思いで編成しました。「疾風」は激しく吹く風、「勁草」は強い草のことで、激しい風が吹くことによって、それに負けない強く丈夫な草が見分けられることから、困難に直面した時に初めてその人間の本当の強さや価値が分かるという意味であります。

人口が減少する現実を受け止め、10年先のあるべき姿を見据え、未来へ責任ある投資となるよう、選択と集中を意識し、妥協することもいとわずに取り組むこととしたものであり、「住みたいまち」「住み続けたいまち」の実現に向け、進めてきました。

予算の概要につきましては、私が選挙の公約として市民の皆様にお示しした内容を基本に、令和8年度に推進したい事業を中心に説明させていただきます。

重点施策の1つ目、「医療・福祉の充実」では、安全安心な医療体制を維持するため、糸魚川総合病院の経営安定が最重要課題であることから、経営安定化に向けた支援を行います。

また、大学病院との連携による新たな医療受診体制の構築に向けた体制整備を進めます。加えて、市内のクリニックによる、かかりつけ医機能等を補完するオンライン診療導入に向けた調査研究を進めます。

安心して子どもを産み育てる環境整備としては、子育て世代から要望があります全天候型子ども遊戯場について、既存施設を活用し整備を行います。駅北の賑わい創出と子育て支援を目的に整備する汎用性のある駅北遊び広場については、既存建物の解体のほか、広場の設計業務を進めます。

2つ目の「教育の推進」では、未来を担う子どもたちに、より質の高い教育を提供することを目的に、市立学校教育環境整備方針に基づき、学校再編の検討を進めます。

学力の向上に向けて、新たにデジタルドリルを導入し、児童・生徒の理解度に応じた学習支援を行います。不登校児童生徒への支援として、既に活動されている関係団体とも連携し、学びの多様化に対応した学習機会の確保を進めるほか、当市の実態に即した学びの多様化学校の設置に向けた検討を進めて参ります。

3つ目の「地域の特性を活かした経済活性化」では、一次産業の地域ブランド創出として、有機栽培の推進に向けた調査研究を進めるほか、園芸の振興として、日本なし・新碧などの高収益作物の生産拡大を図る農業者を支援して参ります。

活動人口の拡大に向けて、国が進める「ふるさと住民登録制度」の調査研究を行い、既存の糸魚川応援隊からのスムーズな移行や、新たな登録者の獲得に向けて準備を進めます。产学研官が連携し、地域の資源と資金を活用した地域密着型の創業や新規事業を支援するため、新たに国の制度であるローカル1万プロジェクトに取り組みます。

また、交流人口・関係人口の拡大に向けて観光協会と観光課の窓口を融合し、相互に連携する中で事業を推進いたします。

4つ目の「災害対応と安全」では、庁内に新たに危機管理課を設置し、平時から災害に備えるとともに、災害が発生した際は速やかな初動体制を確立し、必要な対応ができるよう準備して参ります。

また、地域防災力の強化として、8年度は駅北大火から10年が経過する節目の年であり、防火意識の醸成や地域住民による自発的な防災活動を推進いたします。

5つ目の「社会の動きへの対応」では、若者の地域活動を支援するほか、大学等との連携による地域活性化を図るため、大学生の活動の場の提供や学生の滞在場所として、既存の公共施設や空き家等の利活用を検討します。

また、住み慣れた地域で生活するため、地域の実情に合わせた共助による交通手段の構築に向けた検討を進めます。

これらの事業を含めた当初予算につきまして、一般会計の予算総額は、287億4千万円で、対前年度8億5千万円の増となっております。

令和8年度におきましては、食料品等の物価高騰が引き続き、市民生活や企業活動などに影響を及ぼしていることから、国や県と連動して対策にあたるとともに、市民の安全安心な暮らしや生命財産を守るため、必要な事業に取り組んで参ります。今後とも一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、令和8年度当初予算の説明とさせていただきます。

続きまして、3月市議会定例会について、であります。来週月曜日、2月16日から3月16日までの29日間の会期で開催する予定であります。

提案する議案関係につきましては、新年度予算案のほか、専決処分の承認が1件、条例関係が14件、補正予算が4件、辺地に係る総合整備計画の変更、糸魚川市過疎地域持続的発展計画の策定、和解、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任、農業委員会委員の任命など、計56件であります。その中で、令和7年度一般会計補正予算について、ご説明させていただきます。

議案第1号は、令和7年度一般会計補正予算（第8号）の専決処分の報告であります、歳入歳出それぞれ4千万円を追加いたしております。これは、

衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行経費であり、1月21日付けでプレスリリースした内容のものであります。

議案第2号は、令和7年度一般会計補正予算（第9号）でありますと、歳入歳出それぞれ3億8千900万円を追加し、総額を297億5千931万円といたしております。この補正予算は、食料品物価高騰対策 給付金事業でありますと、食料品などの物価高騰の影響を受けている市民の生活を支援するため、国の重点支援地方交付金を活用し、令和8年3月1日を基準日として、当市に住民登録がある市民に対し、一人1万円を給付するものです。

なお、3月中の給付開始に向け事務を進めるため、本議案は、定例会初日の採決を予定しております。

議案第31号は、令和7年度一般会計補正予算（第10号）でありますと、歳入歳出それぞれ11億5千920万9千円を追加し、総額を309億1千851万9千円といたしております。内容につきましては、別紙資料の「一般会計補正予算第10号について」をご覧ください。

1 事業者支援事業（物価高騰対策）は、国の重点支援地方交付金を活用し、市内中小企業・小規模事業者等の省エネ対策や生産性向上に向けた取組に対する補助と経営指導員による伴走支援を行います。

2 観光誘客宣伝事業は、市内で撮影される相馬御風を題材とした映画の製作費用について、ふるさと納税等で寄附金を募集したところ、経費控除後で約1千840万円の寄附額となる見込みとなつたため、一般財源からも約160万円を支援することとし、フィルムコミッショング支援補助金として、2千万円を支出いたします。

3 民営保育所等 物価高騰対策事業は、国の重点支援地方交付金を活用し、市内民営の保育所及び認定こども園に対し、給食に係る食材料費の高騰対策として、3歳以上の児童1人当たり1万800円を補助いたします。

4 フードバンク等支援事業（物価高騰対策）は、国の重点支援地方交付金を活用し、市内の活動団体に対し、食料品及び生活用品を支給いたします。

5 避難所環境整備事業は、国の地域未来交付金を活用し、簡易トイレ、移動式冷風機及び間仕切り等の避難所環境の向上に資する物品を配備するほか、市民と連携した避難所運営についての普及啓発に取り組みます。

6 現年公共土木施設災害復旧事業は、令和7年11月に発生した豪雨災害の復旧費で、被災箇所は市道大野西海線であり、令和8年末の復旧を見込んでおります。

7 基金積立金は、令和7年度の収支に一定の目途がついたことから、前年度繰越金等を基金に積み立て、令和8年度以降の財源として活用いたします。

議案の説明については以上ですが、議案第34号「教育委員会委員の任命について」、議案第35号から議案第37号までの「固定資産評価審査委員会委員の選任について」及び議案第38号から議案第56号までの「農業委員会委員に任命について」は、定例会最終日に提案する予定であります。

なお、特別職報酬等審議会に諮問した市長、副市長、教育長の給料月額について、2月3日に審議会から、1%の引上げが妥当との答申を受けましたが、当市の状況等を鑑みて据え置くものとし、議案の提出はいたしておりません。

3点目は、フォッサマグナミュージアムから3つのイベント等について、お知らせいたします。

1つ目は、フォッサマグナミュージアムにおいて、石のまち糸魚川のひな遊び展を開催します。ヒスイなど糸魚川の石を使ったひな飾り、日本の地質の東西境界を表現したひな飾り、イラストレーターの吉原晴美さん、革工芸作家の平由喜子さんの作品のほか、絵手紙グループ「風だより」の絵手紙を

展示します。

2つ目は、本の寄贈について、あります。糸魚川の町屋文化を守り伝える会の代表である小川英子さんから、会が14年間の活動を閉じるにあたり、会で所蔵していた石や化石、恐竜の図鑑、科学者の伝記など、多数の本をご寄贈いただきました。寄贈いただいた本は、フォッサマグナミュージアムの休憩コーナーに設置し、訪れた皆さまからご覧いただいております。

3つ目は、昨年8月に亡くなられた野紫木洋さんを追悼する企画展について、あります。野紫木先生は、哺乳類、特にオコジョの研究者として活躍されたほか、博物館主催の観察会や講座の講師、動植物をテーマとした特別展の企画、動植物の書籍の原稿執筆など、糸魚川市に多大な貢献をいただきました。この企画展では、野紫木先生の糸魚川市への貢献と、野紫木先生と関わりがあった方々との交流について紹介します。

また、企画展の初日に、野紫木先生を偲ぶ講演会の開催を予定しております。多くの皆様からご参加いただきたいと存じます。